

12月 定例市議会

予算総額は四十億円台に

補正予算と決算認定

十二月定例市議会は、十二月二日から二十三日まで開かれますが、この市議会で審議される議案は、昭和四十二年一般会計および特別会計の決算、昭和四十三年の一般会計および水道事業会計の補正予算、それに関係関係では住居表示実施に伴う関係条例の整備、証明手数料の改訂、山本保育所(浦瀬、乙吉の統合保育所)の設置、市営住宅入居基準の改訂などです。

除雪経費などを追加 四十三年補正予算

昭和四十三年の一般会計補正予算は、五千〇六七万円の追加で

これが可決されると、総額四〇億二千五百五十四万二千円となり、はじめに四〇億円台にのる大型予算になります。

この補正予算には、ブルドーザーの購入をはじめ、除雪関係の予算、保護費の増額などが計上されています。

民生関係…基準改訂による生活保護費の増額一、二二六万円。私立保育所施設整備補助二八九万円。措置児童(保育所)委託料の基準改訂によるもの一、三三〇万円など。

農林水産関係…果樹農業生産基盤整備事業補助金など二四六万円。豚コレラ対策費一六六万円など。

土木関係…ブルドーザー(一台)購入費の追加四六〇万円。除雪関係経費の追加一四九万円。大島地区都市改造事業費の追加四五〇万円。道路補修用の砂利購入費の追加三〇〇万円など。

教育関係…旧新中中学校(新組第二、第三小学校の統合校舎)改築関係経費の追加など。

決算額は四十五億円

昭和四十二年の一般会計および特別会計の決算は、総額で、歳入四億六千〇七十四万円、歳出四

五億七千七百二十円となり、四十二年に比べ九億三千三百七十五円と、大幅な増額を示しました。

このうち一般会計は、歳入、歳出差引一千七一九万二千円の不足額(赤字)を生じましたが、四十二年に比べ歳入で二二・一%、歳出では二二・九%と、かならず増加しました。

歳入の伸びは、市税をはじめとして、国庫支出金、財産収入などが全般的に増加したことによるものです。歳出の伸びは、投資的経費、なかでも、都市計画事業、環境衛生整備事業、教育施設の拡充などの建設事業を増加させることができたことによるものです。

今後はいっそう健全財政を目指し、より効率的に運用し、収支の均衡をはかるよう努力してまいります。市民のみならずからも、いまままでのご協力を、お願いいたします。

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	3,785,130,631	3,802,323,038	△17,192,407
国保事業特別会計	545,009,444	499,544,223	45,465,221
公益質屋事業特別会計	3,358,886	1,524,862	1,834,024
と畜場事業特別会計	30,611,170	30,610,651	519
下水道事業特別会計	82,756,445	82,748,850	7,595
簡易水道事業特別会計	18,872,734	18,839,753	32,981
復興土地地区面整理事業費	7,656,027	4,637,821	3,018,206
卸売市場特別会計	137,344,507	137,342,497	2,010
合計	4,610,789,844	4,577,571,695	33,168,149

公営住宅入居資格の改正

種別	扶養親族0人	扶養親族1人	扶養親族2人	扶養親族3人	
第一種	旧	53,333	55,833	58,333	60,833
	新	58,333	62,083	65,833	69,583
第二種	旧	33,333	35,833	38,333	40,833
	新	38,333	42,083	45,833	49,583

給与所得者の場合で、平均月収(手当等を含む総収入)をあらわしたものです。
第1種: 6畳、4畳半、3畳の住宅、第2種: 6畳、4畳半の住宅

十二月一日から、公営住宅に入居できる収入基準が次の表のように引き上げになりました。

いままで、公営住宅に入居を希望しても収入が多くなかなか入居できなかった方も、この収入基準の引き上げによって有資格者になれることが予想されますので、該当される方は住宅課(西千手分室)へご相談ください。



高島町大川原(十日町地区)に

ニシキゴイ生産所など建設さまる

最近、ニシキゴイなどの稚魚の需要は急増してまいりました。しかし、それらの稚魚の生産は個人個人がまちまちであるため、損耗も多く品質の低下と価格の高騰を呼んでいます。しかも、立地条件により、増産を期待することができません。いろいろな検討を重ねられてまいりましたが、このほど、高島町地内大川原(十日町地区)に、敷地二万四千平方メートルの内水面水産試験場とニシキゴイ種苗生産所の二つが建設されることに決定いたしました。

内水面水産試験場は、ニシキゴイのほか、食用ゴイ、アユ、ドジョウ、金魚などの淡水魚全般を対象に、養殖技術、病害、魚毒に関する研究や指導、水質、環境調査などを行なうため、飼育農家や業者の便宜をはかることと、年間にアユを百万尾、ドジョウを六十万尾、ニシキゴイを二百万尾、ドジョウを六十万尾、建設費は一億二千二百五十万円、昭和四十五年までに完成することになっております。

建設される施設は、庁舎、公舎、飼料庫、ポンプ場など六むね、延べ三千三百平方メートルの建て物と二百九十七面、約五千平方メートルの試験池、試験そうなどとなつてまいります。

ニシキゴイ種苗生産所は、優良ニシキゴイを生産するのを目的に建設されるもので、建設費は二百四十万円、試験施設などを収容する八十三平方メートルの建て物と百三十面、延べ約五千平方メートルの養魚池などをつくり、年間に優良ニシキゴイの稚魚八十六万四千尾、当歳魚七千尾、二歳魚二千尾、三歳魚七百尾を生産することになっております。

にしており、昭和四十四年度に完成する予定となっております。

※これらの建設は、国の補助事業として県が設置の主体となりますが、敷地については、県からの「無償貸与」の要請により、長岡市が買収して県に貸与する形で協力することになっており、とりあえず長岡市開発公社で買収手続を進めています。

なお、これと併行して同じ国道十七号線および信濃川沿いの小千谷市には、ニシキゴイ種苗センターと展示場が建設されます。

再申し込みはお早めに
なお、公営住宅の入居申込み有効期間は十二月三十一日まで切れますので、再申し込みを希望される方は一月四日以前に改めましてお申し込みください。

あくまでも健全財政を堅持

市政モニターの財政診断

昭和四十三年の当初予算は総額三六億九千万円、「産業基盤の整備」、「教育の振興」、「市民福祉の向上」を柱として編成され、今年三月定例市議会で成立いたしました。その後六月、九月と補正され、この十二月の補正では、四〇億をこえ、長岡市はじつて以来の財政規模になろうとしています。

さて、今月の市政モニターは、財政についてです。担当の総務部長に、市政モニターの吉沢さんから、市政財政の現状や、今後の見通しなどについて、いろいろ聞いていただきました。

十年間で四倍に

ふくれた財政規模

財政規模が、毎年大きくなつていきます。総務部長 昭和三十三年から四十二年までの決算額を一覧表(下表)にしてみました。

間て約四倍になっていきます。四十二年から四十二年に、とくに大きく伸びています。総務部長 旧版之上校跡地の買い戻しとか、史料館、図書館、こみ焼却場の建設とか、大きな事業がいつべんに着手されたことが原因なんです。臨時に大きな事業をやると財政規模も大きくなります。ですから財政規模が、財政力の大きさとイコールではないのですがね……

それはどういう意味ですか。官庁会計のしくみからくるものでしょうか。

総務部長 そうですね。財政規模も問題でなければ、市独自の力で収入できる自主財源(市税、使用料手数料、財産収入など)と、国や県などからくるものや借金などの依存財源(地方交付税、国庫支出金、起債など)の比率がどうなっているか。歳出の面で、義務的な経費と、建設費などに向けられるものが増えてきているか。というように市の財政力を見る場合に重要な点です。四十二

年度の決算でいうと、自主財源が歳入全体の六四%、依存財源が三六%。歳出面は義務的経費四〇・六%、投資的経費三八・二%、物件費、維持補修費、などその他経費が二一・二%となつております。

投資的な面にも

もつと力を

黒字とか赤字だとか問題にされますが、常識的に考えて、市をよくするためには、ある程度の赤字はやむを得ないのじゃないですか。総務部長 ただ赤字を出すと、今後起債を仰ぐ場合など、依存財源の面で非常に拘束されますのでね。たとえば、いま新興住宅地が業者の手でどんどん作られていますが、できてしまつてから道路や

年度	歳入	歳出	差引
33	1,016,836	1,005,819	11,016
34	987,685	963,026	25,658
35	1,156,201	1,274,754	△118,556
36	1,717,251	1,829,177	△111,925
37	1,871,696	2,021,742	△150,065
38	2,164,762	2,236,140	△71,377
39	2,395,569	2,530,621	△135,051
40	2,785,660	2,787,483	△1,822
41	3,100,578	3,094,240	6,337
42	3,783,255	3,799,548	△17,192

減税問題は検討中

市税はどのくらい入っているのですか。総務部長 四十二年は約一億七千円で、歳入総額の四五・二%を占めています。とくに徴収率は九八・五%となつており、全国平均と比較しても大変よい成績です。この点は市民のみならずのご協力によるもので、本当にありがたいと思っております。



市民の率直な要望としては、仕事はいつぱいやってもらいたいし、税金は安くしてほしい、ということだと思っております。

排水路を整備するといつても、もう手おくれですよ。こういう土地を市で確保しておくことなどは、たとえ赤字になつてもやるべきじゃないでしょうか。総務部長 土地の先行取得はどうしても必要なんです。なかなかのお金がありませんからね……国でも最近はお金をはじめに、そのための資金は金融公庫を作つて、別枠で貸し付けるとい

あくまでも

今後の見通し

それでは長岡市の財政は果たして健全といえるのでしょうか。総務部長 そうですね。最初に申し上げたように、自主財源の比率が四十二年で六四%、今年度の予算では六九%にのぼつております。こうした点からいえば、まあまあということがいえると思っております。

しかし、この六九%の中には、旧版之上校跡地、蔵王団地や東北中の跡地の売却代金が三億五千万円も入っていますので、今後売るべき財産がなくなつたらどうするか。また毎年国から入ってくる地方交付税を減らすというような動きとか、国の財政硬直化の影響が、今後の財政にもおよんでくるのじゃないか。国の財政措置に大きく左右される市町村の財政ですから、このままでは、決して明るい見通しとはいえないと思っております。一生懸命やつてまいります。

どうもありがとうございます。非常にご苦労されていることがよくわかりました。今後ともつがなばつてくださいます。最後に一つだけお願いしておきますが、高速度道路が入ってきた場合には、長岡市もすい分変化させられると思うんです。そのときにどう問題に対処しよう、いまいからしつかりした対策を立てておいてほしいと思っております。

紙面の都合で発言は要約させていただきます。





十一月二十九日、市では国や県など、関係の方々から集まっていたいただき、ことしの除雪計画について検討いたしました。

ことしは、消雪パイプの水の出が悪いところも出ています。から、除雪機動隊を編成し、幹線道路の高速除雪に重点をおくことにしています。

市民のみならず、雪の処理のしかたをくふうするなど、交通が途絶するようなことのないよう、ご協力をお願いいたします。

道路の除雪は、国道八号線と十七号線は、建設省長岡土木事務所が、また県道は、長岡土木事務所がそれぞれ担当しますが、市道の除雪については、市役所に除雪本部を置いて、消雪パイプの敷設してある道路のほか、二〇二キロメートルにおよぶ道路を除雪することにしてあります。

ことしは、消雪パイプの水の出が悪いところも出ています。から、高速除雪に重点を置き、市内を八つのブロックに分けて除雪作業に当りますが、このため、十二月六日には、六十六名から成る除雪機動隊を編成いたしました。また、除雪車も市有車三台をはじめとして、状況により民間の車を借り上げて除雪にあたることになっております。

除雪の基準については、第一次(積雪量一メートル以下で、一日夜の降雪量が〇・五メートル以下

除雪機動隊も勢ぞろい

無雪道路確保に全力

除雪はみんなの力で

除雪や消雪をした道路に雪を捨てないでください。

道路以外に雪の捨て場のないところでは、通行に支障のないよう道路のはじに整然と積みかさねておいてください。

屋根の雪おろし日を町内で決めた場合は、なるべくその指示に従ってください。

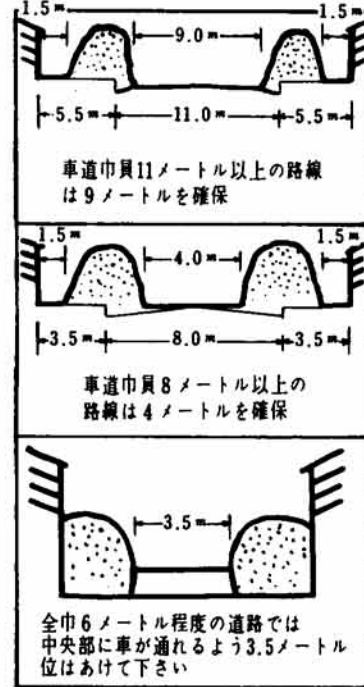
歩道は、歩行者が通れる幅を確保してください。

消雪パイプの水は、雪の降っている時だけ、二〇センチくらいの高さにして出してください。地下水の使いすぎによつて地盤沈下のおそれもありますので、とくに管理者のご協力をお願いします。



道路に雪を捨てないで

と)と第二次(積雪量が一・四メートル以上に達し、引き続き降雪が多量に見込まれる警報が発せられた場合)の動員計画に分け、生活必需品の確保や生産物の搬出入、し尿・汚物などの処理、通学路の確保や災害や緊急事態にそなえるため、朝三時から出動することになっております。



市街地の雪捨て場所は柿川筋は、宝田橋、安鉄橋、久生橋、御幸橋、匠橋、栄橋、平湯橋、追いつし橋と柏町地内左岸、中島三丁目から安鉄橋までの左岸で、追いつし橋上流は、建設省が指定する長生橋上流右岸とします。

福島江や栖吉川および小河川などは、溢水の危険があるため、雪捨てを禁止しますのでご協力ください。

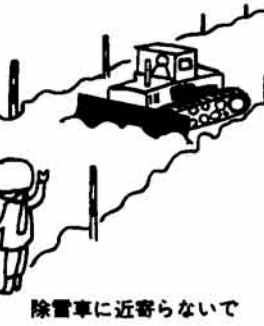
柿川や信濃川の雪捨て場所から遠距離のところでは、関係町内で協力して排雪場所(雪の押し出し場所)を決めていただきます。

危険物や鉄くず、ごみなどを雪といっしょに捨てないでください。

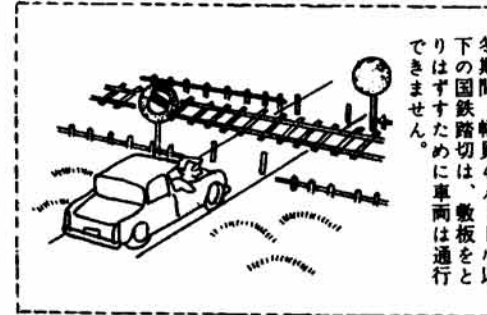
除雪車の運行中は近寄らないでください。



雪捨ては決められた場所へ



除雪車に近寄らないで



非常の際の消火活動や救急作業などができるように、まらぐらみでこぼこの整理をお願いします。

消火施設がいつでも使えるよう除雪にご協力ください。

なお、消火施設が破損した場合は、すぐ消防署(電話二局二九二番)にご連絡ください。

道路の側溝や川が雪でふさがると、水がたまりやすくなります。雪を取り除いて排水をよくしてください。

し尿のくみ取り口も除雪いたしません。

冬期間、幅員4メートル以下の道路踏切は、敷板をとりはずすために車面は通行できません。

地下水を大切にしましょう 一無雪道路確保にご協力を



まちぐるみの協力を

長岡の地下水は、信濃川右岸(川東地域)では、信濃川の伏流水。左岸(川西地域)では、天水を水源とする地下水が分布しており、信濃川の東部と西部は、その性格が異なっています。

県の調査は信濃川右岸の伏流水地域に限定して行なわれました。

消雪パイプに赤信号 地下水を大切にしましょう

わが長岡市の消雪パイプは、冬の道路確保に、なくてはならない施設になっております。ところが最近、水の出が悪くて、その威力を十分発揮できなくなったパイプが、あちこちではじめました。

昨年暮れ県に依頼した地下水調査の結果は、その原因が地下水の過大な汲みあげによるものである、と指摘しております。

いま長岡市内には、国、県、市道合わせて62キロメートルに及ぶ消雪パイプが敷設されておりますが、これを将来にわたって活用するために、この地下水調査の結果をご紹介しながら、市民のみならず、地下水節水について、さらに一段のご協力を得たいと思います。

安全揚水量

ここに流れ込む水の量を把握して汲みあげを、その量以下にとどめておくならば、地下水は水統的に使用することができ、この量を知るために、地下水層を、地表から三〇メートルまでの上部層(伏流水帯、三〇〜七〇メートルまでの層、七〇メートル以上の層)に分け、そのおのおの

地盤沈下の危険性

ところが実際に汲みあげられている水の量は、夏期でも一日に二万五千トン、冬期には二万五トンと、安全揚水量一〇万トンを、このように超えています。

このような状態が今後も続けば、長岡の地下水位はどんどん低下して、消雪パイプが使用できなくなるばかりか、将来は地盤沈下をおこす恐れすらある、と、県の調査結果は警告を与えています。

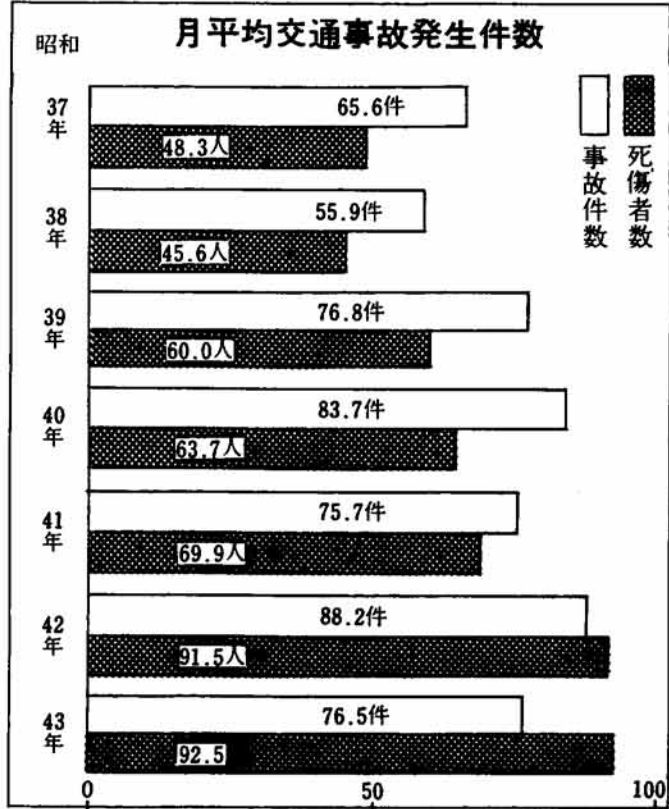
市民のみならず

このように危険な状態にある地下水の実態を十分ご理解いただくとともに、地下水は市民の手で守ってまいりましょう。

消雪パイプの使用についてお願い

各町内の消雪パイプを操作されるみなさん、次のことを必ず守ってください。

- 水を出すのは、雪の降っているときだけにしてください。
- 水の高さは、二〇センチメートル以内にしてください。



交通安全 7周年を迎えて

酒のみ運転やスピード違反はやめよう

依然として高い水準にあり、死傷者の数は年々増加しております。これは、自動車の急増や交通環境などの問題もありましようが、市民一人一人の交通安全に対する認識の不足によるものが、あつとわなければなりません。

冬期および年末年始 交通事故防止

十二月は、歳末をひかえ、自動車運行の増加や心理的な気ぜわしさのために、毎年交通事故が多発しております。また年末年始は積雪、凍結などによる道路の悪条件や、お酒を飲む機会が多いことなどにより、発生しやすい時期でもあります。

十二月一日から二月十八日までの三ヶ月を「冬期および年末年始交通事故防止強調期間」として、強力に運動を進めるとにいたしました。

冬期の事故防止のために

- 1 自動車にはタイヤチェーンを装着しよう
- 2 路面に応じた安全速度を守ろう
- 3 急発進、急ハンドル、急ブレーキをやめよう
- 4 年末年始の事故防止のために
- 1 お酒を飲んだ人に運転させない
- 2 つかれた人に運転させない
- 3 自分の歩行の安全に責任をもつ

あなたは今安全運転をしていますか 一年年末始の交通事故防止運動一

建設進む古川町(昭和)住宅

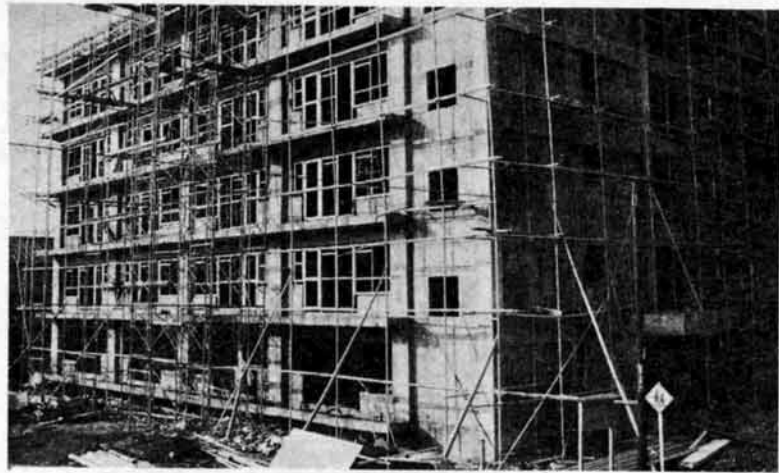
入居予定は来春の四月

この古川町改良住宅は、市が、市内の各所にある共同住宅、厚生寮十八棟、三百四十戸の建て替え事業の第一計画により建設しているもので、左上の写真のように第二種中層耐火構造五階建て、建築面積は七〇五・九六平方メートル、延床面積は三、四四九・二六平方メートル、工費は一億二千六百

去る五月、旧共同住宅の取りこわしと同時に、新たに新築工事をはじめた古川町(住居表示により昭和)改良住宅はすでに外装工事を終り、来春四月の入居を目ざして、急ピッチで内装工事が進められている。

八万八千円となっており、いままでの古川町共同住宅に入居されていた方々と、長岡バイパス(国道八号線)建設にともなって移転を余儀なくされた引揚者住宅、共同住宅に入居されていたみなさん七十五世帯が入居されます。

現在、外装工事はほとんど終り内装工事を急いでいますので、来



ことしの「米づくり長岡一」は、芹川町(下川西地区)の伊藤致さんにまきました。

四百十六点の参加によって長岡一が競われたことしの「長岡市米多収穫競争会」は、去る十一月五日の最終審査の結果、別表の方々が入賞されました。

この競争会は、新潟県米百万トン達成運動の一環として行なわれたもので、第三次審査を通過した三十七点のなかから「長岡一」がま

追肥重点の施肥計画をたて、本来の刈り取り期より十日ほどおくらせて収穫するのが私の稲作の最大の特色です。

そのため丹念な水管理と適期追肥に重点をおき、登熟歩合を高めるために出穂前に三回、葉の光合成能力を高め、粒重を増すため実肥を二回、合計五回に分施しました。

また、間断灌水による水管理で下葉の枯れ上りを少なくして、茎葉を青々と丈夫にもっていくために排水溝をつくり、根の健康にためたのが多収穫につながったと思います。

実収は十アール当り八百五十五キロの好成绩をあげることができましたが、私は、稲作はなんとい

「米づくり長岡一」に伊藤致さん(芹川町)

つても耕地全域の土地基盤整備が急務であることを痛感しています。

昭和43年度長岡市米多収穫競争会入賞者

順位	住所	氏名	10a当り推定収量	品種名
1等賞	芹川町	伊藤致	817.5kg	フジミノリ
2等賞	新組町	広橋繁夫	780.1	レイメイ
	高見町	伊丹松男	769.4	フジミノリ
3等賞	乙吉町	高橋謙	768.9	
	天神町	反町弘	765.6	
	福戸町	海津耕平	757.5	

熱戦!! 全国制覇なる

青年大会で長岡卓球チーム

さる十一月十日から三日間、東京で行なわれた全国青年大会には長岡市から陸上、卓球、女子バレーボールの三チームが代表として参加し、卓球チームが果敢と勝利を成し遂げました。

これは明治百年の年であるため、国立競技場で行なわれた開会式には、釜本、杉山両選手がサッカードル模範演技などもあり、なかなかムードのうちに大会は行なわれまし

卓球には、沖繩を含めた四十九チームが参加し、熱戦をくりひろげました。長岡市チームは、一回戦で島根チームを五対〇、二回戦では兵庫を三対二、三回戦の山形は三対〇、準決勝の岡山は三対二、準決勝の北海道は三対〇、そして決勝戦の対大阪では三対一でそのスコアを破り、晴れの優勝をかざったのでした。

(若月監督談) 今年度の勝因は、①選手の間が一致しており、夜の練習にもかかわらず、ひとりとして練習をなげける者がいないこと。②飯の上、大島小学校や厚生会館を利用させてもらって五月から百三十四日間にもわたる練習ができたこと。③選手が家庭や職場の理解があったこと。④対



- 戦相手にめぐまれたり、コンテシヨンがいいなど、運がよかつたこと。この四点だと思ふ、なかでも選手がおの別々に練習するのではなく、みんながまとまって練習できたことが最大の勝因となつた。この意味で、学校開放など、練習場確保に力を尽くして下さつた市当局をはじめ、各学校には非常に感謝している。
- 卓球に限らず、スポーツをもっとさかんにし、もっと強くするには、まず、スポーツ人口を増やさ
- なればならないが、長岡には、学校開放という、スポーツ参加の機会があるのだから、市も協会も利用したらいいのではないかと、出陣選手
- 監督 若月光男 城岡二選手 池津文雄 王香田町 長谷川五男 大荒戸町 堀井俊 山田町 丸山美代子 七日町 平沢清子 七日町

犯罪や事故のない歳末を

家族ぐるみ、市民ぐるみで

ことしも、あますところあらず、一年の最終の月を迎えて何かと気ぜわしい毎日が続きます。

押し迫って来られるも、整理するものは計画的に済ませるとともに、火事や盗難に注意して楽しい正月を迎えましょう。

元を確かめましょう。

- 寝タバコやタバコの吸殻の投げ捨てはやめましょう。
- 石油のフコ釜、コンロの取扱いは不備がないか確かめましょう。

習慣づけよう

戸締り、を

毎とすることながら、年末のあわただしに便乗して、盗難や万引きなどの犯罪が多くなります。混みあう場所では、ハンドバッグは抱きかかえるようにしてスリに注意するとともに、ちよつと隣りまで、というようなときに戸締りに十分注意しましょう。

健康で楽しい冬休みを

子どもたちにとって楽しい年末年始は、金銭的にも時間的にもムズクになりがちで、いきおいあまり

くらしの中で 防火体制

寒さがきびしくなるにしたがって、お互いに暖房器具をはじめ、火をつかうことが多くなりますが、ちよつとした不注意が、火元だけに限らず、隣近所にまで不幸をもたらしています。

消すことよりも火を出さない、ということを中心として、うつつけたいものです。

〇 出るとき、寝るときは必ず火の

元を確かめましょう。

- 寝タバコやタバコの吸殻の投げ捨てはやめましょう。
- 石油のフコ釜、コンロの取扱いは不備がないか確かめましょう。

習慣づけよう

戸締り、を

毎とすることながら、年末のあわただしに便乗して、盗難や万引きなどの犯罪が多くなります。混みあう場所では、ハンドバッグは抱きかかえるようにしてスリに注意するとともに、ちよつと隣りまで、というようなときに戸締りに十分注意しましょう。

健康で楽しい冬休みを

子どもたちにとって楽しい年末年始は、金銭的にも時間的にもムズクになりがちで、いきおいあまり



「家庭のしおり」から

ものや時間をしようずに使います。

【例】 障子ばり。家庭防火演習。冬がこい。年賀はがき。一年をふりかえる。冬山の注意。歳末助けあい。

年賀状と小荷物は 早めに出して

長岡駅と長岡郵便局では、小荷物や小包は十五日まで、年賀状は二十日までに……と呼びかけています。

○ 小荷物の荷づくりはしっかりと荷札は必ず二枚つけて十五日まで出しましょう。

○ 年賀状は早く書いて早く(二十日までに)出しましょう。

○ 年賀状にはあなたの住所の郵便番号を忘れないように書いてください。

○ 都道府県名、丁目、番地、用書き(とくにお子さんあて)など、のり郵便は迷子になりますので、はっきり書いてください。

年末年始の 市役所事務

市役所の年末年始の事務は、二十八日仕事納め、二十九日から一月三日まで、一般事務は休ませていただきます。

水難防止とまちの美観



川崎町町内会では、去る十月二十七日、子どもたちを水の事故から守ろうと、まちの美観に役立つよう舟橋から上流(稲葉川)二百メートルの両岸に十八種類の、つるばら二百本を植えました。

あいにくこの日は雨の一日でしたが、町内の子どもも元気に応援。水難防止とまちの美観をわらった一石二鳥のつるばらは、明るい笑いのうちにみるみる植えられていきました。

来春の五月ごろには、色とりどりの花が咲き乱れ、市内の新名所になるのでは?と、いまからまちの話題になっています。

明るい歳末へ愛の手

歳末助け合い運動に協力しよう、長岡市美術クラブ(丸山一雄会長)では、郷土出身の知名人の協力を得て、去る十二月四日、五日の両日、大和アパートで、色紙展示即売会を開きました。

この催しは昭和三十九年から毎年とてきたもので、郷土出身の知名人や長岡市美術協会の作品を一枚千円、三千円などで即

売し、その売り上げ金を恵まれない人や施設に贈ってまいりました。いままでも、老人福祉センターにテレビを、双葉寮に六万七千円余の図書をもつた、長岡市精進者育成会に七万円を贈るなど、みなさんから大へん喜ばれております。

